

# 西小倉めぐみ教会通信

発行者 日本キリスト教団 西小倉めぐみ教会  
〒611-0042 京都府宇治市小倉町西浦33-36  
Tel&FAX 0774-20-3071 <http://www.n-megumi.com/>

## 「神が求めておられることは」 倉橋 剛

聖名を崇めます。2010年も小さな教会が皆さまからのお祈り、そして尊いご献金により支えられ励まされ歩んでこられましたこと本当に感謝の思いで一杯です。

来年4月に教会創立30周年を迎える私たちの教会は現在も教会員の半数以上、私自身も含め精神的な辛さしんどさを抱えている者が中心の弱さを抱えた小さな群れです。しかし、だからこそ、この世にあって弱い立場に追いやられている方々と共感でき、共に歩む教会として神さまから大切な課題を与えられているとひひしと感じています。

当教会では、毎週月曜日にひきこもりがちな青少年の居場所「おやすみ」を開いていますが、実際に「おやすみ」を続けていく中で最近新たな課題を与えられています。ひきこもりがちな青年もどんどん年齢が高くなり、自分の居場所を見つけられないまま心も身体もさまよっている本当に苦しい状態の方々が多くなっています。想像を遥かに超えた複雑な一人一人の事情があり、たとえ願っていても働くこと自体困難な中で安心して過ごせる居場所もないの方々が多くおられるのです。心休まる、安心して過ごせる所、しんどさや不安をありのまま語れるところがないと訴えられる方々と何人出会った事でしょう。私たちにはやはり自分が自分らしく居られる所が必要なのです。神さまが愛して下さっている大切な存在としてです。

ひきこもりがちな青少年は本当に精神的にデリケートで繊細な人たちが多く、10代20代の若者からは、どうしても年齢が上の人たちと一緒にだと強い圧迫感を感じてしまうという声もありました。そのため現在「おやすみ」は35歳迄としています。しかし現実を見るとどうしても「おやすみ」とは別に年齢もその他、何の枠

組みもないもう一つの居場所を創る必要性を感じ、今、具体的な協議を始めています。正直本当に小さな教会でスタッフの問題など課題は山積みです。けれど、心休まる所とは、それはまさに教会の姿そのものなのです。

もう一つ、今年度は居場所に来ること自体が難しい方々を支えておられるご家族を心に留め「臨床心理カウンセラーを囲んでの懇談会」を開きました。「何んだか少し心が軽くなった気がします」と笑顔を見せて下さったお母さんの表情にこちらも元気をいただきました。専門家からのアドバイスも受けながらご家族にしか分からない日々の生活の中での不安、迷い、孤独、焦り、そんな辛さ苦しさを語り合い一緒に前を向いて一歩でも歩み出せるように、これからもご家族とも共に手を取り合っていきたいと願っています。

教会創立30周年を迎えるにあたり、もう一度地域に開かれた教会としてこの小さな教会の存在意義を考える時、与えられている使命を改めて知らされている思いがします。

「主をたたえよ 日々、私たちを担い、救われる神を」。神が求めておられることは、共にいて支えてくださる神の力を受けつつ、これからも日々弱い立場の方々と共に歩む者、また、教会であり続けることだと確信しています。その使命を少しでも果たしていくことを教会員一同と共に心から願っています。このような小さな教会を、これからも覚え、支えていただけたら本当に幸いです。

在 主



# 2010年後半・教会のあゆみ

## <8・15集会で中国残留日本人孤児の方と交流> 8月15日



この日は、私たちの教会の近隣の地域に住む中国残留日本人孤児の上岡政子さんをお招きし、「戦争・わが半生を語る」と題してお話を聴きました。

1943年、7歳の時に両親と共に旧満州に渡り、敗戦のあと一家ばらばらになって、中国人養父母に育てられた上岡さんは、中国で銀行関係の仕事をされたあと、1999年に日本に永住帰国されました。日本語教室で学んだ日本語で、貴重な体験談をうかがうことができました。改めて戦争の悲惨さを思い、心から世界の平和を祈り求めました。

「中国残留孤児を支援し交流する京都の会」の方々にもメッセージをいただくと共に、交流の時をもち、最後に全員で中国語と日本語で「北国の春」を歌って、和やかな時をもつことができました。

## <夏のデイキャンプ(野外礼拝)> 8月22日



例年の恒例行事になったアクトパル宇治での夏のデイキャンプ。今年は、日曜日の主日礼拝を兼ねて、野外礼拝として、12人が参加して実施しました。

猛暑日が続いた今年の夏でしたが、下界よりちよっ



とだけ涼しい山の中で、バーベキューに、すいかに、溪流で「足水」をしました。ふだん、いろいろな重荷を背負って歩んでいる私たちですが、しばし重荷をおろして楽しみました。

## <しょうがい者週間を覚えて特別主日礼拝> 11月14日

この日は、難病と闘いながら車いすでの自立しょうがい者生活をおくっておられる李清美(イチョンミ)さんを迎え、奨励をしていただきました。清美さんは、在日韓国人2世で、「私はマイノリティあなたは？」という本を出版され、様々なマイノリティとしての体験を次の世代のマイノリティに伝えようと日々歩んでおられます。この日の奨励では、自立生活に至る前の若き日の苦難の話を中心に、信仰の力をもって乗り越えられ、奇跡を感じながら今に至っていることを語られました。「今幸せです」と語る清美さんに、まさにこの日の聖句(ヨハネによる福音書9章1~3節)のとおり、神の業がこの人に現れていると感じました。



<クリスマス・イヴ礼拝> 12月19日



この日は、午前中にクリスマス特別礼拝を守り、昼は鍋を囲んでの愛餐会で普段の労苦をいやし、夜は榎本てる子さんをゲストに迎えて、クリスマス・イヴ礼拝をもちました。榎本さんは、長年エイズカウンセラーとしてHIV陽性の人たちと関わってこられたのに加え、現在は外国人の健康と権利の問題について考えるCHARMという団体の理事をされ、すべての人が

安心して医療を受けられる社会を願いつつ尊い活動をおられます。「生命の輝き～日本で生活する外国人」と題し、これまでに出会われた外国から来られた様々な人たちとの関わりのお話を通じ、「あなたはひとりではない。インマヌエルー神は我々と共におられる。」というメッセージを受け止めました。



### 私の好きな聖句

マタイによる福音書 7章 7節 「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。」

貧農の娘として生まれ育った私は、農作業の中で、根気強さ、粘り強さを自然に身につけた。だから、目標に向かって、諦めないで努力するのが、当たり前になっている。今まで、いろいろ、めげそうになったり、やめようと思ったりした事もあるが、諦めないで頑張っていると、何かが開けてくるという経験がいくつもある。表現は違うが、望み続け、願い続けながら努力すれば、それが不思議と実現するものだし、自分から求めて行動を起こさなければ何も起きてこないと感じて、それが日々の自分の生活信条になっていたのだから、聖書の中にこの文を見た時は、自分の思ってた事が文章になって目の前に現れたような気がして、びっくりしました。以来、この聖句が大好きになりました。

小曾根一枝

### 信徒からの一言

「かみさま きょう ぬんぬはほいくえんにいきました。よる、ままとにんと、ごわんをたべました。おいのいがすんだら、いいこでねんねします。いえすさまのみなによっておいのいします。アーメン」



2才半の孫の祈りです。言葉もまだままだらないのに、眠りにつく前に、その日に何事もなかったこと、神様のお守りがあったことを祈る姿に、ほのぼのの穏やかな気持ちにさせられているこの頃です。

本当に神様に感謝です。

門戸幸子

## 「西小倉めぐみ教会を支える会」へのご支援のお願い

主の御名を讃美いたします。

西小倉めぐみ教会は、1981年の創立以来、社会の中で小さくされた人たち、貧しくされた人たち、しょうがいをもつ人たち、とりわけ精神しょうがい者の人たちの課題を共に負って生きること、平和を希求して歩むことを宣教の課題として歩んできました。2005年から倉橋剛牧師を後任牧師に迎えた後も、その基本姿勢に変わりはありません。

西小倉めぐみ教会では、教会に集う人たちが自身が精神しょうがい者であったり、その家族に精神しょうがい者がいる人たちが多くを占めています。弱い立場にある人たちが多く集う教会ゆえに、教会員による精一杯の献金にもおのずと限界があるところです。

そのため、倉橋牧師招聘後の謝儀に対し、京都教区宣教連帯の制度から援助を頂き、さらに全国の皆様から「西小倉めぐみ教会を支える会」に献金をいただき、なんとか牧師家族の生活を支えてきました。ところが、教区の財政状況も厳しく、2009年度から施行された京都教区宣教連帯援助金の制度では、一教会年間130万円が上限とされた中で、教会の支出を見直すとともに、牧師家族には様々な面で生活を見直していただき、切り詰めるられるところは切り詰めていただく等の努力をさせていただいております。

そんな厳しい状況にあっても、小さく弱い群だからこそこの教会が神様から与えられた使命を果たし続けるため、来年の創立30周年と前後して、宗教法人化の手続きを進めて基盤を強化すると共に、当教会の社会的はたらきをより広く知ってもらうための記念事業を進めていくこととしました。

そのようなこの教会のはたらきと、厳しい経済的事情にどうかご理解をいただき、「西小倉めぐみ教会を支える会」へのご支援をいただきたくお願い申し上げます。

2010年12月

西小倉めぐみ教会を支える会 代表 山下茂雄（醍醐教会牧師）

### 今までに御献金いただいた方のお名前(敬称略・順不同)

2010.06.21～2010.12.19現在

鴨東教会 山下茂雄 君村千代子 佐藤嘉子 山田 裕 服部能幸 武 公子 福井達雨  
榎本栄次 難波 巧 竹内富久恵 沼田和也 美藤 章 三吉 明 宮本真希子 城崎教会  
足立こずえ 金沢八景教会 中沢 謙 広瀬規代志 佐藤多津子 東條典子 波戸ひさみ  
チャペル福音館伝道所 久が原教会 湯谷忠興 川染美佐子 水島祥子 明石義信  
人見 勝 西条教会 経堂北教会 長岡京教会 中標津伝道所 長崎哲夫 李清美  
片山公平 目白町教会 琴浦教会 近藤英子 芦屋山手教会 高幡教会 田中 晁・千栄  
西本 愛 小曾根一枝 杉本節子 団野利男・明日香・華保 橋本 博 門戸幸子 岩城澄子  
倉橋 剛・容子

(108件 計 462,082円)

支える会の会計が大変逼迫しています。引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

### ●教会のホームページをご覧ください！！

西小倉めぐみ教会のホームページが出来ています。まだまだ内容はこれからですが、これから充実させていく予定です。教会通信の1号から10号までも掲載しています。是非一度ご覧ください。アドレスは[www.n-megumi.com](http://www.n-megumi.com)です。

また、不登校やひきこもりがちな子ども達、若者達のフリースペース『おやすみ』のホームページもあります。アドレスは[oyasumi.info](http://oyasumi.info)です。こちらの方も併せてよろしく申し上げます。